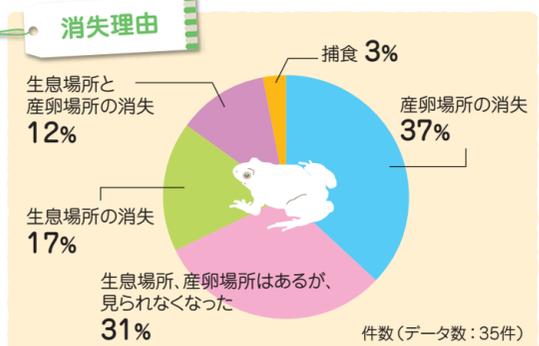
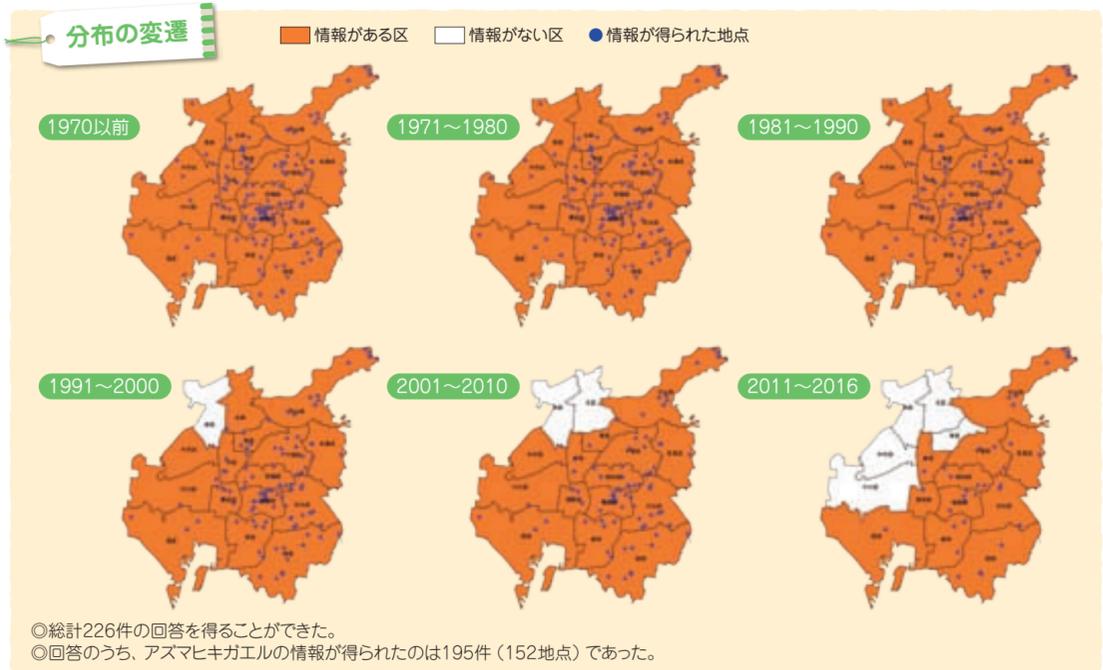


ヒキガエルアンケート調査 結果報告

なごや生物多様性保全活動協議会では、2015年6月3日から2016年7月31日まで、名古屋市の「レッドデータブックなごや2015」で新たに絶滅危惧Ⅱ類に評定されたアズマヒキガエル (*Bufo japonicus formosus*) のアンケート調査を行いました。生きものシンフォニー 16号ではその中間報告をお伝えしましたが、今回は回答をまとめた最終結果を報告いたします。



この結果から、過去にはアズマヒキガエルが名古屋市16区(全区)に生息していた可能性が高いことが示唆されました。平均寿命を亜種のニホンヒキガエル (*Bufo japonicus japonicus*) のオスで6~7年、メスで5~6年と同程度と仮定すると、1991年以降に目撃情報がない西区と、2001年以降に目撃情報がない北区では絶滅してしまった可能性が高く、2011年以降に目撃情報がない東区、中村区、中川区は絶滅間近と考えられます。

このような結果が得られたのはアンケート調査にご協力いただいた皆様のおかげです。この場を借りてお礼申し上げます。今後、過去の地図と照らし合わせて減少の原因を探るとともに、生息の確認を行っていきます。
(生物多様性市民協働推進員 寺本匡寛)

なお、この内容は、第19回自然系調査研究機関連絡会議(NORNAC19)でポスター発表されたものです。

名古屋市立向陽高等学校 科学部

昭和区広池町47

1~2年生合わせて24名の生徒が所属する向陽高等学校科学部。放課後は生物室に集まり、和気あいあいと日々部活に励んでいます。「生徒本人が『面白い』と感じるテーマを研究することで、自然と責任感が生まれます。新たな発見に出会う面白さを感じてもらえたら」と顧問の伊藤政夫先生。その言葉通り、生徒それぞれが興味のあるテーマを見つけ、楽しみながら研究に励んでいます。

現在部内では、生物系から物理系テーマまで幅広く研究中。アリを石膏で型採った巣の中で飼育し、ビデオカメラで撮影して行動パターンを観察する「アリの研究」や、個体再生のメカニズムを探る「ブラナリアの研究」、すり潰したバナナを濾過し、アルコールを加えてDNAを抽出分析する「DNA抽出実験についての研究」など、8つの研究テーマにまい進。その他にも、部全体で校内にバタフライガーデンを構え、チョウチョの生態研究を行っています。様々な文献や先生のアドバイスを参考にしながら、実験や検討を経て研究成果をまとめ、論文作成まで実施。ときには、大学の先生に教えを乞うこともあります。

研究成果は、なごや生物多様性センターまつりやUACJ稲荷祭、高校生による科学の祭典などで発表。「自分の立てた仮説が正しかったことを証明できた時何よりも面白い!」と語る生徒たちだけに、さらなる研究成果が期待できそうです。



掲示板

機関誌「なごやの生物多様性」第4巻を発行しました!

なごや生物多様性センターでは、地域で実践されている調査・保全活動等によって得られた、なごやの生物多様性に関する情報を、正確に記録し広く発信するため機関誌を発行しています。第4巻には、藤前干潟における底生藻類による水質浄化、なごや生きもの一斉調査から得られたデータを活用した生体個体数推定モデルの提案、そして愛知県産ゾウムシ類のDNAバーコーディングに関する原著論文が掲載されています。また、猪高緑地のトンボとチョウの記録、東海地方で発見されたタカチホヘビの記録、大高緑地に関する活動報告などが寄せられました。興味のある方は、ぜひ一度ご覧ください。機関誌はセンターウェブサイトや名古屋市立図書館でご覧になれます。

第5巻 投稿募集

平成29年度に発行予定の第5巻の投稿を募集します。どなたでも投稿できます。市民、保全団体、専門家、行政に所属している方など、広く投稿を募集しています。また、内容や投稿区分についても、学術的知見を記した原著論文、調査保全活動で得られた結果等を記した記録、報告および生物目録など、幅広い内容の文章を募ります。投稿規定をお読みいただき、ぜひご投稿ください。**投稿期限:平成29年8月31日**
センターウェブサイト >> <http://www.kankyo-net.city.nagoya.jp/biodiversity/>

「市民生きもの調査員」に登録しませんか?

生物調査や講習会、イベントなどの実施情報を直接メールでお届けします。どなたでも登録できます。詳しくは協議会ウェブサイト!

問い合わせ・申し込み先

- 発行:名古屋市環境局なごや生物多様性センター**
- 住所 〒468-0066 名古屋市天白区元八事五丁目230番地 (地下鉄塩釜口駅2番または3番出口から徒歩5分)
- 電話 052-831-8104(平日 8:45~17:30) FAX 052-839-1695
E-mail bdnagoya@kankyokuyoku.city.nagoya.lg.jp
- なごや生物多様性センターウェブサイト <http://www.kankyo-net.city.nagoya.jp/biodiversity>
- 名古屋市公式サイト <http://www.city.nagoya.jp/> 検索
- なごや生物多様性保全活動協議会 <http://www.bdnagoya.jp>



生きものシンフォニーのバックナンバーは、なごや生物多様性センターのウェブサイトでご覧いただけます。

生きものシンフォニー

いのちかがやくなごや

平成29年3月 21号

特集

なごやの自然と出会う

白く小さい花をつけるマメナシ、鮮やかな花を咲かせるハルリンドウ...
下の写真は、全てなごやで春に見られる花です。
かわいらしい花たちを観に、あなたも出かけてみませんか。



CONTENTS

特集 なごやの自然と出会う P1~2
春らんまん 小幡緑地の自然

TOPICS 知っていますか? 特定外来生物 P3
平成28年度 主な行事等の実績 P4
平成28年度 なごや生きもの報告会 P4
ヒキガエルアンケート調査 結果報告 P5

活動紹介 名古屋市立向陽高等学校 科学部 P6
掲 示 板 機関誌「なごやの生物多様性」第4巻を発行しました! P6

春らんまん 小幡緑地の自然

小幡緑地は守山区にある県営の公園で、本園の面積は約36万㎡、標高は60～80mです。園内には池が3つあり、白沢川が流れ、ゲンジボタルの幼虫が棲息しています。

3月下旬から4月上旬にかけての小幡緑地は、ソメイヨシノ・オオシマザクラ・ヤマザクラの3種類のサクラの花に彩られます。絶滅危惧種のマメナシも園内に約40株自生しており、競うかのように“純白で気高い”花を咲かせます。

同じ頃、水生園では、コバルトブルーのハルリンドウ群落、桃源郷を思わせるコバノミツバツツシの群落が咲き誇り、シュンラン、ショウジョウバカマ、ヒメカンアオイなどの春を感じられる植物が観られます。せせらぎ湿地では、ザイフリボク、シデコブシも観ることができます。



5月になると、竜巻池がみえる土手にはユキヤナギとティカカズラ、園路沿いにはズミ、クロミノニシゴリ、エゴノキ、サワフタギ、カナメモチ、ミヤマガズミなどが咲き、白い花一色です。土手沿いには黄色いニガナやタンポポなどの花が咲き、とても華やかな季節となります。

たくさんのお花を観ることができる小幡緑地。みなさんも一度足を運んでみてください。



(愛知守山自然の会 石原則義)



事前申込み不要
観覧会
情報

小幡緑地のマメナシ観察会
日時 4月8日(土) 10:00～
小幡緑地トンボの時計台集合
※18歳以上の方は参加費100円

水生園の観察会 参加無料
日時 4月9日(日) 9:30～
緑が池駐車場集合
(雨天の場合は、16日(日)に順延)

問合せ先 愛知守山自然の会 石原則義
【電話】711-3087 【E-mail】noriyoshibob@yahoo.co.jp

知っていますか? 特定外来生物

国外由来の外来種であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすおそれがあるものは、外来生物法*により特定外来生物に指定されています。

春はたくさんの生きものが姿を現す季節。今回は特定外来生物の一部についてご紹介します。

*特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律。

アライグマ



目の周りから頬にかけて黒色のマスク模様があり、黒と茶のしま模様の尻尾を持ちます。5本の指がはっきり分かれた足跡も大きな特徴です。庭のコイや金魚を食べられたという被害や、人家にすみつき糞尿で汚すといった被害が確認されています。アライグマを見かけたり、被害にあったりした場合はなごや生物多様性センターまで情報をお寄せください。

カミツキガメ



背甲長(甲羅の長さ)が最大50cmになる大型のカメです。指に鋭い爪をもつこと、長い尾に三角形の突起が並んでいることが特徴です。カミツキガメは危険を感じると、首を瞬時に伸ばして強い力でかむことがあります。見つけた場合はむやみに近づかず、なごや生物多様性センターまたは最寄りの警察署にご連絡ください。

ハナガメ



首に黄色と黒の細いしま模様があります。平成28年10月1日に新たに特定外来生物に指定されました。在来種であるニホンシガメやクサガメと交雑し、繁殖力のある子孫をつくって遺伝的攪乱を引き起こします。

オオキンケイギク



北アメリカ原産のキク科の多年草です。茎の高さは30～70cmで、毎年5月～7月ごろに、コスモスに似た黄色く目立つ花を咲かせます。繁殖力が非常に強く、もともと分布していた在来の植物が衰退する一因として危惧されています。

外来生物法で指定された特定外来生物は以下のことが禁止されています

- * 飼育・栽培・保管・運搬すること
- * 輸入・譲渡・販売すること
- * 野外へ放つ、植える、種子をまくこと など

外来種は悪者??

様々な問題を引き起こす外来種ですが、もとは人間の活動に伴って持ち込まれたものです。これ以上被害を増やさないために、次の3つを守りましょう!

- 1 悪影響を及ぼすおそれのある外来種を **入れない**
 - 2 飼育・栽培している外来種を **捨てない**
 - 3 すでに野外にいる外来種を他地域に **拡げない**
- 最後に... 外来種が広がった原因の一つに、ペット遺棄があります。ペットを飼う前にはその生きものについてよく調べ、最後まで飼い続けましょう。



平成28年度 主な行事等の実績

【センター】...なごや生物多様性センター主催 【協議会】...なごや生物多様性保全活動協議会主催

【 】内は開催場所。場所の記載のない行事はなごや生物多様性センター。

日付	名称【開催場所】	主催
平成28年		
4月29日	なごや生きもの報告会～生きもの調査と外来種対策～	【名古屋市立大学】協議会
5月21日	山崎川オオキンケイギク抜き取り会	【山崎川】協議会
27日	第25回生物多様性カフェ 「森と海とのつながりと環境教育について」	センター
7月9日～8月9日	なごや生物多様性サマースクール2016(14講座)	【各所】協議会
31日	第26回生物多様性カフェ 「陸と海の狭間で生きるカニの仲間たち」	センター
8月26日～29日	なごや生きもの一斉調査～セミの抜け殻編～	【37箇所】協議会
9月17日	環境デーなごや2016中央行事に出展	【中区 久屋大通公園】
25日	第27回生物多様性カフェ 「西アフリカにくらす野生チンパンジー」	センター
10月23日	天白区区民まつりに出展	【天白公園】
30日	第3回なごや生物多様性センターまつり・生物多様性ユースひろば	センター
11月13日	スキルアップ講座(ヤゴ同定講座)	協議会
18日	スキルアップ講座(地曳き網体験講座)	協議会
平成29年		
1月28日	第28回生物多様性カフェ 「オートファジーはなぜ大切なのか」	センター
3月25日	第29回生物多様性カフェ 「歩いて学ぼう!街の生きもの 鶴舞公園編(小雨決行)」	【鶴舞公園】センター
25日	希少種シンポジウム2017 レッドリストのひみつ!	
	なごやの絶滅のおそれのある野生生物	【名古屋工業大学】センター
29日	機関誌「なごやの生物多様性」第4巻発行	センター
通年	市政出前トークなごやエコスクール出前講座等	【各所】センター
通年	アライグマ防除	【各所】センター
通年	市民協働による調査保全活動	【各所】協議会
通年	定例会(学びあう会)(全6回)	協議会

生物多様性カフェの実施にあたり、次の皆様のご協力をいただいています。

協賛 株式会社坂角総本舗
ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社
(敬称略・五十音順)

平成28年度 なごや 生きもの 報告会

なごや生物多様性保全活動協議会の活動報告会「なごや生きもの報告会～調査から見た今のなごや～」を開催します。最新のなごやの生きもののお話を伝えますので、ぜひお越しください!

日時 平成29年4月29日(土・祝) 午後1時から4時
会場 名古屋市立大学(桜山キャンパス) 医学部研究棟 11階 講義室A
定員 180名(申し込み不要・当日先着順)



だなも「生物多様性キャラクター応援団」